

平成22年柴田町議会懇談会
報 告 書

平成22年12月13日
柴 田 町 議 会

議会の活動を町民に報告するとともに、議会や町政に対する町民の意見・要望等を直接聴取し議会活動に反映させるため、平成22年7月18日に町内各小学校区単位で議会懇談会（一般懇談会）を開催しました。

今回は、行政・議会・町民の3者に共通する懇談会テーマを「防災―地震に備えて―」として取り上げ、宮城県危機対策企画専門監小松宏行氏並びに柴田町危機管理監佐藤富男氏を講師とする公開議員研修会を事前に開催し、来るべき「宮城県沖地震への備え」や本町における「災害に強い地域づくり」への取り組みを互いに学習して議会懇談会に臨み、活発に意見が交わされました。

また、新たに団体等を対象とした議会懇談会（団体懇談会）も行うこととし、本年は9月28日に柴田町商工会との懇談会を開催しました。商工会長を初めとする多くの役員のご出席をいただき、商工会の置かれている現状や課題、町の施策についての意見等について意見が出されました。

これら一般懇談会及び団体懇談会での意見・要望等が次のとおりまとまりましたので、報告します。

平成22年12月13日

議長 我妻 弘国 殿

議会懇談会実行委員会

委員長	水戸 義裕
副委員長	佐藤 輝雄
委員	平間 奈緒美
委員	高橋 たい子
委員	森 淑子
委員	大沼 惇義

目 次

総 括

1 一般懇談会	1
(1) 参加者数	1
(2) 質問・意見・要望等の件数	1
2 団体懇談会	3
(1) 参加者数	3
(2) 質問・意見・要望等の件数	3
3 町長への申し入れ事項	3
4 議長への申し入れ事項	3

質問・意見・要望等

1 一般懇談会	4
(1) 防災に関する質問・意見・要望等	4
(2) 町政に関する質問・意見・要望等	10
(3) 議会に関する質問・意見・要望等	20
2 団体懇談会	23

資 料

I 平成22年柴田町議会懇談会開催要領	27
II 議会懇談会実行委員会の活動経過	31

【総括】

1 一般懇談会

(1) 参加者数

開催日	開催時間	開催会場	小学校区	担当班	参加者数	臨時託児所利用者数
平成22年 7月18日 (日)	14:00 ～ 16:00	柴田町保健センター (4階会議室)	船岡小	1班	7人	—
		槻木生涯学習センター (3階会議室2)	槻木小	2班	11人	—
		船迫生涯学習センター (2階会議室1・2)	船迫小	3班	15人	—
	19:00 ～ 21:00	農村環境改善センター (1階農事研修室)	柴田小	1班	14人	—
		西住公民館(ホール)	西住小	2班	5人	—
		船岡生涯学習センター (2階和室)	東船岡小	3班	12人	—
計					64人 (前年は77人)	0人 (前年は6人)

(2) 質問・意見・要望等の件数

① 防災に関する質問・意見・要望等

項目	質問・意見・要望等の件数
避難場所・避難所に関すること	9件
避難・救助・応援に関すること	6件
自主防災組織に関すること	6件
防災マップに関すること	2件
排水機場に関すること	2件
消防団に関すること	2件
災害時要援護者名簿に関すること	2件
その他	6件
計	35件

② 町政に関する質問・意見・要望等

開催会場	質問・意見・要望等の件数
柴田町保健センター	5件
槻木生涯学習センター	9件
船迫生涯学習センター	10件
農村環境改善センター	4件
西住公民館	6件
船岡生涯学習センター	3件
計	37件

③ 議会に関する質問・意見・要望等

開催会場	質問・意見・要望等の件数
柴田町保健センター	1件
槻木生涯学習センター	4件
船迫生涯学習センター	1件
農村環境改善センター	2件
西住公民館	3件
船岡生涯学習センター	4件
計	15件

2 団体懇談会

(1) 参加者数

開催日	開催時間	開催会場	参加者数		
平成22年 9月28日 (火)	14:00 ～ 16:00	柴田町商工会館 (3階大会議室)	38人		
			内 訳	商工会役員	20人
				柴田町議会議員	18人

(2) 質問・意見・要望等の件数

項目	質問・意見・要望等の 件数	(内訳)	
		商工会から 議員へ	議員から 商工会へ
公共交通の確保に関する事	4件	3件	1件
花のまち柴田に関する事	1件	1件	
農商工連携に関する事	1件		1件
入札に関する事	2件	2件	
職員増員要請に関する事	1件		1件
プレミアム商品券に関する事	1件		1件
商品券等による納税に関する事	1件		1件
仙台大学とのかかわりに関する事	2件	2件	
その他	7件	6件	1件
計	20件	14件	6件

3 町長への申し入れ事項

- ・ 大規模災害発生時における町や消防等の公助には限界があり、自助や共助が重要となることから、各自主防災組織が当該地区住民に十分理解され、必要時に機能するよう指導すること。

4 議長への申し入れ事項

- ・ 一般懇談会の参加者数が年々減少してきているため、来年は1会場当たりの目標数を決めて、全議員が熱意をもって町民へ声掛けし、参加者を増やす必要があるのではないか。
- ・ 今回は団体懇談会を実施したが、既実施団体と議会との今後の接点の持ち方と、懇談団体の選定方法に工夫が必要ではないか。

【質問・意見・要望等】

1 一般懇談会

(1) 防災に関する質問・意見・要望等

ア. 避難場所・避難所に関すること

No.	質問・意見・要望等	回答担当	回 答
①	高齢者や乳幼児の避難場所に町内福祉施設を活用すべきではないか。 【槻木生涯学習センター】	総務課	現時点では、高齢者や乳幼児を分散して避難する計画はありませんが、避難所において、避難生活がしやすい環境づくりに努めます。
②	17A地区の避難場所は葛岡山公園だが、現在の高台だけでなく、平地の部分に設置してほしい。【槻木生涯学習センター】	総務課	1次避難所については、各地区で定められたところが避難場所・避難所になりますが、2次避難所・避難場所については、防災マップに掲載している槻木小学校区内の指定避難所・避難場所になります。
③	10区の避難場所は船迫生涯学習センターになっているが、例えば若葉町の人より近い柴田高校に避難してもいいのか。【船迫生涯学習センター】	総務課	柴田高校については、他の避難所に被災者が収容しきれない場合開設するので、船迫生涯学習センター等町指定の避難所・避難場所に避難してください。
④	町では行政区ごとに避難場所を決めており、船迫小学校区は船迫生涯学習センターになっている。柴田高校への避難はだめではないか。 防災マップの表現もちよっとわかりにくい。【船迫生涯学習センター】	総務課	
⑤	平成22年度はどこかの避難所にどのような備蓄品を整備するのか。【西住公民館】	総務課	備蓄倉庫については、船岡・槻木・船迫生涯学習センター、改善センター等に設置し、投光機セット・ポータブルトイレ、ストーブ等を整備します。
⑥	災害時の食料の備蓄はあるのか。【西住公民館】	総務課	災害時の食料の備蓄はなく、災害時における応急生活物資供給等の協力に関する協定を締結しているセブンイレブン・ジャパン、山崎製パン仙台工場等から供給される計画です。
⑦	西住小学校が避難所になっているが、大雨が降ると行けなくなる。その対策は。【西住公民館】	総務課	大住地区が特に冠水しやすい状況にあるので、常設ポンプによる排水を実施するとともに、杉崎、清住地区については、仮設ポンプを配備し早期冠水解消に努めます。抜本的には、大河原町と連携して、鷲沼排水区公共下水道雨水整備を促進します。

No.	質問・意見・要望等	回答担当	回 答
⑧	西住地区の避難場所は大河原商業高校と西住小学校の2カ所あるが、避難所間の連絡体制はどのようにするのか。【西住公民館】	総務課	大河原商業高校については、西住小学校の避難所に被災者が収容しきれない場合開設するので、町指定の西住小学校に避難してください。両方の施設を開設した場合、避難所担当職員が防災無線により連絡することとしています。
⑨	災害時には携帯電話が使えなくなるが、町では避難所間の連絡方法は決めているのか。【船迫生涯学習センター】	総務課	各町指定の第2次避難所・避難場所については、防災無線により連絡することとしています。

イ. 避難・救助・応援に関すること

No.	質問・意見・要望等	回答担当	回 答
①	槻木地区における洪水を想定した避難訓練をもっと活発に行うべきではないか。【槻木生涯学習センター】	総務課	自主防災組織による避難訓練を実施するよう、各地区の自主防災組織と協議し、実施に努めています。
②	日中に災害が起きても、若い人たちが働きに出ており対応できない。避難誘導のマニュアルが必要だ。【改善センター】	総務課	災害時の避難がスムーズに行えるよう、町内各自主防災組織と連携し避難訓練の実施に努めていきます。 避難誘導のマニュアルについては、今後検討します。
③	震災時に高齢者の救助を誰が行うか地域で話し合っているが難しい。町の指導、援助が必要ではないか。【西住公民館】	総務課	災害時の高齢者を含めた災害弱者の方々の避難については、町内各地区の自主防災組織において検討中なので、町としても指導、援助をしていきます。
④	地元で自衛隊があるが、災害時の町との関係はどうなっているのか。町から要請すれば出動できるのか。【船迫生涯学習センター】	総務課	災害時における自衛隊に対する派遣要請については、町長が県知事宛に自衛隊の派遣依頼を行い、知事から自衛隊への要請を受け、町に派遣されます。
⑤	災害発生時に自衛隊、警察、県に対しての要請はどうなっているのか。【西住公民館】	総務課	災害発生時に町長が県知事宛に災害派遣依頼を行い、知事の要請に基づき自衛隊が派遣されます。 また、警察・県についても町長が県、関係機関と密接に連携を取り、必要な対策を講じます。
⑥	6区は道幅が狭いため、草刈り等道路が整備されていないと避難誘導ができない。【保健センター】	総務課	災害時の避難がスムーズに行えるよう、町内各自主防災組織と連携し、避難訓練の実施に努めていきます。

ウ. 自主防災組織に関すること

No.	質問・意見・要望等	回答担当	回 答
①	他の自治体や自主防災組織の取り組みを紹介してほしい。【保健センター】	総務課	出前講座等を通じ自主防災組織の活動等を紹介していきます。
②	40行政区で自主防災組織が組織されたが、避難訓練など平常時の具体的な活動状況を教えてほしい。【船迫生涯学習センター】	総務課	現在、自主防災組織については、避難訓練など地区住民の安否確認の訓練を重点的に行うよう指導、援助を行っています。また、出前講座等を通じ具体的な活動状況を紹介していきます。
③	他の自主防災組織の活動内容がわからない。 各組織でやっていることをPRしたり、アドバイスしたりすることなどが大事ではないか。【船岡生涯学習センター】	総務課	自主防災組織の代表者が各行政区の区長であることから、行政区長会の会議の中で、各地区の自主防災組織の活動状況の情報交換を行い、情報の共有化を図るとともに、各地区の自主防災組織の指導、援助を行っています。
④	自主防災組織が組織されても、普段何もやっていないのではいざというときに機能しない。【船迫生涯学習センター】	総務課	各地区の自主防災組織については、毎年計画的にテーマを設けて訓練を行っているので、できるだけ災害時に機能する訓練の指導、援助を行っています。
⑤	自主防災組織では、予算がなく防災用備品が購入できない。投光器などは町から配布されたが、担架や車椅子なども備えたいと思っている。 29A区では区域が広く情報伝達が困難であることから、各種補助制度を利用し、3年目でやっと無線機等を配備した。 各自主防災組織は防災資機材が不足しているので至急整備してほしい。【船迫生涯学習センター】	総務課	町全体の自主防災組織が共通的に必要と思われる備品については、投光器セット、ハンドマイク、防災セット等を既に全組織に配布済みです。 今後、さらに全組織共通的に防災資機材が必要な備品については、検討していきます。
⑥	自主防災組織に役員数分程度のヘルメットがあってもいいのではないか。【保健センター】	総務課	自主防災組織のヘルメットについては、各地区の自主防災組織で準備願います。全組織が共通的に必要な備品については、今後検討していきます。

エ. 防災マップに関すること

No.	質問・意見・要望等	回答担当	回 答
①	防災マップはもっと細やかにつくべきではなかったか。 また、地域住民からその地域の過去の災害情報を収集して防災マップに活用すべきではなかったか。 特に地質について詳しく載せるべきではないか。【改善センター】	総務課	防災マップについては、イラストなどでわかりやすく説明し、作成しました。 また、詳細な情報までこのマップに掲載していませんが、町地域防災計画の中に詳細な情報が掲載していますので、閲覧で公開します。
②	防災マップを見たら、西住地区は常に冠水しているのに色が塗られていないが、その理由は。【西住公民館】	総務課	防災マップについては、水防法に基づく阿武隈川・白石川の洪水ハザード情報を掲載しています。このハザード情報は、本町に関係する阿武隈川・白石川が大雨によって氾濫した場合、洪水が想定される区域とその浸水の深さを示したものです。

オ. 排水機場に関すること

No.	質問・意見・要望等	回答担当	回 答
①	五間堀が溢水するようになっていても排水機場のポンプが稼働しないが、稼働する基準はどうなっているのか。【改善センター】	総務課	機場の内水位 4 m 以上かつ内水位上昇傾向かつ岩沼観測所水位 8.25 m 未満の状況下にあるとき、国土交通省仙台河川国道事務所に連絡し、機場の排水を開始します。
②	槻木上町地区の冠水対策に関し、四日市場排水機場稼働による効果がわからない。【槻木生涯学習センター】	総務課	四日市場排水機場については、農地の湛水被害を防止し、農業基盤の確立と農業経営の安定を図り、地域住民の生活環境の向上を目指すものです。槻木市街地の雨水排水対策については、極力排水機場の機能を効率的かつ効果的に発揮できるように国、県、改良区等関係機関と協議し、対処していきます。

カ. 消防団に関すること

No.	質問・意見・要望等	回答担当	回 答
①	消防団組織の現状は。【保健センター】	総務課	消防団については、6分団 29班 316人（平成22年4月1日現在）であり、定数 350人に対し、充足率 90.3%です。
②	槻木地区は起伏が多く、火災時には地元消防団員が消防車を運転しているのが安心しているが、消防団員も高齢化してきているのではないか。【改善センター】	総務課	消防団についても高齢化が進んでいる現状であり、平成21年度から70歳定年制を設けました。今後とも消防団員の確保に努め、実情に応じた消防防災設備の整備を図り、消防団活動の充実に努めます。

キ. 災害時要援護者名簿に関すること

No.	質問・意見・要望等	回答担当	回 答
①	町から災害弱者の名簿が提供されているが、町の指針として誰がどのような考えで個人情報を提供しているのか。【保健センター】	福祉課	災害時要援護者名簿は広域的な災害が発生した場合に、公的支援活動には制限があることから、柴田町防災計画により要援護者の支援活動が地域で助け合う仕組みとなるよう、防災関係機関や行政区長、民生委員に提供しています。
②	災害が起きたときに搬送すべき災害弱者と言われる人や高齢者の住所・名前などの個人情報が公表されているが、注意が必要ではないか。【改善センター】	福祉課	名簿の作成には、高齢者や障害のある方等を対象に、民生委員の協力を得て、本人からの「手上げ方式」により被災した場合に支援を希望する内容を記載しています。名簿は個人情報が詳しく記載されますので、管理には厳重な取扱いが必要なことから配布範囲を限定しており、行政区にあつては保管管理者を置いたり定期的に回収を行ったりするなど細心の注意を払っています。

ク. その他

No.	質問・意見・要望等	回答担当	回 答
①	地震の際の役場の初動体制はどうなっているのか。【西住公民館】	総務課	町内で震度4の地震を観測したとき、災害警戒本部を設置し、情報収集活動を行うとともに、状況により災害対策本部の設置が円滑に行い得る体制をとります。
②	柴田町の断層はどうなっているのか。【西住公民館】	総務課	北部の山地は、火山角礫岩・凝灰角礫岩からなり、丘陵地は軟岩～中硬岩を主とする岩盤です。槻木五間堀沿いの農地や白石川以南の農地は粘土を主とする後背湿地です。また、船岡・槻木市街地は、礫、砂といった未固結堆積物からなっています。
③	宮城県沖地震時の柴田町の被害状況は。【西住公民館】	総務課	昭和53年6月12日の宮城県沖地震の本町の死傷者は、重傷1名、軽傷11名でした。また、住家半壊39棟、一部破損152棟、非住家17件の被害がありました。
④	住宅用火災警報器の取り付け状況は。【西住公民館】	総務課	平成22年5月1日現在の火災警報器の設置率は76%です。
⑤	婦人防火クラブへの補助金が少ない。もっと多くすべきではないか。【西住公民館】	総務課	婦人防火クラブ連合会への助成金については、平成22年度41万8,000円です。同連合会の事業計画、収支予算の状況等から総合的に検討します。

No.	質問・意見・要望等	回答担当	回 答
⑥	<p>地震の震度に関心を持っている。 地震のとき本町の震度は他市町の震度よりいつも低く発表されるが、震度計はどこに設置されているのか。 また、設置してある震度計の見学はできるのか。【船迫生涯学習センター】</p>	総務課	<p>地震計の震度計については、しばたの郷土館の敷地内に設置されており、仙台管区気象台の現地調査を受け、現在のところ指摘はありません。 また、設置してある場所の見学は可能です。</p>

(2) 町政に関する質問・意見・要望等

ア. 柴田町保健センター

対象地区／船岡小学校区		担当班／1班	
No.	質問・意見・要望等	回答担当	回答
①	船岡城址公園周辺の空き地を活用して、「花のある町」として、四季ごとに花を植え、観光に活用してはどうか。	商工観光課	周辺の空き地を特定することはできませんが、山全体がさまざまな花で植栽される計画であり、四季を通じた利用を考えた整備が段階的に行われます。駐車場の法面についても、植栽が行われますし、今後は町民が主体となった植栽方法も考えられますので、その機会にはぜひご参加ください。
②	まちづくり基本条例を制定したのだから、職員はもう少しセンサーを高くして、住民の要望を聞くことが必要ではないか。	総務課	まちづくり基本条例について、職員への研修会を年内に実施し、今後の町民の要望の受け入れ体制を整えます。
③	まちづくり基本条例の全文を全戸配布すべきと思うが、予定はないのか。	まちづくり政策課	各行政区に出向き、まちづくり基本条例の説明会を平成22年1月より実施してきました。 今後も町民の要望等に応じ出前講座として直接内容の説明を行っていきたいと考えています。 また、当面はホームページ、広報紙等を活用し啓蒙していきたいと考えていますが、全戸配布については平成23年度版「よくわかる町の仕事と予算」に掲載して全戸配布する予定で考えています。
④	山崎山から根形までの散策道路の整備を進めるとともに、不法投棄されたごみが散乱しているので撤去してほしい。	都市建設課	船岡城址公園は花咲山構想に基づき整備を進めたいと考えています。その後に「花（桜）回廊」として、他の公園などの繋がりを強めていく必要がありますので、現段階で散策道路の優先整備は難しいと考えています。その間、通常の維持管理に努めていきます。
⑤	土手内地区は道幅が狭いことから、側溝に上ぶたを整備して広げられないか。	都市建設課	現状の側溝に蓋掛けすると新たに段差が発生し危険が増します。平坦な路面にするためには側溝本体から改良する必要があります。多額の経費がかかりますので、予算に応じて年次計画で整備したいと考えています。

イ. 槻木生涯学習センター

対象地区／槻木小学校区		担当班／2班	
No.	質問・意見・要望等	回答担当	回 答
①	公共事業は地元業者育成のため、できるだけ地元業者に発注してほしい。 雇用問題解決にもつながるのではないか。	財政課	公共事業の入札、契約については公平性、透明性及び競争性等を確保して執行することが不可欠です。また、地域経済と雇用を支える重要な事業でもあります。ルールに従い、できるだけ地元業者への発注の機会が増えるように努めています。
②	本町では経済的に恵まれない子どもたちのためにどんな施策を行っているのか。	子ども家庭課	保育所保育料や児童館使用料、放課後児童クラブなどの負担軽減や減免措置、学校では就学援助措置、さらにはひとり親家庭には児童扶養手当の支給など、さまざまな分野において支援策を行っています。 町のみで解決できる問題ではなく、国を挙げての施策展開が必要であることから、今後も国・県に対して取り組みなどを強く働き掛けていきます。
③	槻木小学校PTAの支部懇談会で、JAあぐりハウス柴田南側道路の側溝にふたをかけるよう要望がでた。通学路にもなっており早急な対策が必要である。	都市建設課	現状水路に蓋掛けすると新たに段差が発生します。また水路中間にゲートが設置されており蓋掛けしても歩道の利用効果は期待できません。水路沿いにガードパイプ等の柵を設置し安全対策を図れるよう検討したいと考えています。
④	新町公園では滑り台が使用禁止のままになっており、周辺の柵も腐っているの、早急な対応をお願いしたい。	都市建設課	遊具点検委託の中で確認して使用禁止・一部撤去の対応をしています。 他の公園も同様に年々遊具の老朽化が進行し、修繕整備が追いつかない状況です。 できるだけ多くの人に喜んで利用していただけるよう、わずかずつではありますが修繕整備を進めていきたいと考えています。
⑤	葛岡のため池の柵の管理はどこでしているのか。	農政課	農業用ため池については、葛岡地区には存在しません。ため池の箇所が確定できない状況なので、確認してからの対応になります。
⑥	館山に観光物産交流館をつくっても人が集まらないのではないか。	商工観光課	確かに懸念される場所ですが、船岡城址公園は今後、花の山として整備が段階的に行われますし、都市部の貴重な公園としての価値が認知されつつあります。さらに、産直やイベント等で普段から町民に利用してもらえる施設としての活用を考えていますので、町民みんなでご支援いただき、にぎわいのある施設にするためご協力をお願いします。

No.	質問・意見・要望等	回答担当	回 答
⑦	太陽の村から館山にロープウェーを架ければ人が集まるのではないか。	商工観光課	過去にも壮大な構想として取り上げられたことはありますが、現在の状況から投資対効果を慎重に判断すれば、他の施策で対応することが妥当と考えられます。いつの時代にも、大きな構想は必要であり、ありがたいご意見として承っておきます。
⑧	槻木小学校吹奏楽部の楽器が古くなっており、購入が必要である。吹奏楽部が残っているのは槻木小だけなので、援助をお願いしたい。	教育総務課	楽器は高価なものなので、修繕できる楽器については修繕を行います。また、楽器の購入については、毎年計画的に購入していきたいと考えています。
⑨	さくらマラソンが休止となっている。活気・イメージそして希望につながるので、復活させてはどうか。	生涯学習課 (スポーツ 振興室)	平成22年4月協働のまちづくりがスタートするなか、7月4日、「さくらマラソン実行委員会」が設立されました。平成23年4月実施を目指し準備を進めており、行政側のサポートが必要な場合は調整していきます。

ウ. 船迫生涯学習センター

対象地区／船迫小学校区		担当班／3班	
No.	質問・意見・要望等	回答担当	回 答
①	<p>図書館に行ったが、足が悪いので大変だった。デマンドバスがあれば非常に助かる。みやぎ県南中核病院への通院にも利用できるようにしてほしい。</p>	まちづくり政策課	<p>高齢者、障害者等にとって、交通の確保はとても大変なことです。町では今年度、町民のニーズに合った、新たな地域公共交通の検討を行い、平成24年度の運行に向けて取り組んでいきます。</p> <p>また、みやぎ県南中核病院への利用については、大河原町とのかかわりもあり、十分な協議が必要です。</p>
②	<p>年金から税や保険料が天引きされている。町からは暫定的にこうしましたというのがあるが、領収書つきの切符が発行されていない。わかりにくいので詳細がわかるような切符を発行してほしい。</p> <p>介護保険も均等にするというが、わかりにくい。わからないうちに引かれている感じがする。</p>	健康推進課 税務課 福祉課	<p>住民税や国民健康保険税の年金天引きについては、納付書を送付する際に期別明細書を送付して、天引き月や税額の詳細がわかるように通知しています。年金からの税の天引きは、法に基づく制度改正であり、今のところ町から領収書つきの切符を発行することは考えていません。</p> <p>介護保険料も法に基づき年金額が年額18万円以上の方は、年金からの天引き（特別徴収）により保険料が徴収されます。また、それ以外の方は、納付書の納入（普通徴収）となっています。年金から天引きされる方は、1年間に差し引かれる6回の介護保険料を、毎回できるだけ平均的に差し引きされたほうが、受け取る年金額に変動もなく、生活設計も立てやすくなることから、今年から介護保険料の平準化（均等）を取り入れました。今後とも、できるだけわかりやすい内容に工夫した通知に努めていきます。</p>
③	<p>検診に関し、昨年から必要と思われる検診項目が外されたことにより、別料金で受けた。非常に不満に感じている。窓口負担は1割でいいが、基本検診の自己負担は1,400円となっており、高いか安いかわからない。</p>	健康推進課	<p>平成20年の法律改正により、メタボリックに着目した健診項目が変更となりました。従来の健診項目に腹囲測定とLDLコレステロールを追加し、逆に基本健診にあった貧血、心電図、眼底検査は、前年度の結果数値を踏まえ、医師の判断により受けるよう変更となりました。</p> <p>健診の自己負担額は、健診費用の3割程度を負担いただいています。</p>

No.	質問・意見・要望等	回答担当	回 答
④	図書館の開館記念のバッグを先着400人に配布するとあったが、2日目に行ったらなかった。チラシの印刷にあるようなことはおかしいのではないか。	生涯学習課	開館イベントは、5月29日と30日に開催しました。式典は29日に実施し、500人の来館があったため開館記念品のプレゼントは終了してしまいました。30日の来館は1,000人でしたが、無料のお茶会やスタンプラリーなどを行いました。開館イベントのチラシに掲載しました中に誤解を招くような表現があり大変申しわけありませんでした。
⑤	ゴミの有料化は2市7町で話し合っているというがどのようにしているのか。 また、袋の大きさは。	町民環境課	現在、仙南2市7町それぞれの住民代表2名による「ごみ有料化検討委員会」で素案を検討しており、有料化の導入を、平成23年10月を目標として協議中です。 有料化となるごみの種類は、「可燃ごみ」と「不燃ごみ」だけで、資源ごみは有料化の対象にはなりません。有料化後のごみ袋の価格は、袋の製造費を合わせた価格で、大が50円、中が40円、小が30円、資源ごみ袋は袋の製造費等にかかるだけの価格となります。 現在のごみ袋は、使えなくなります。新しく統一された袋で、大きさは現在と変わりませんが、結びやすくするため耳つきになります。
⑥	犬を飼うと登録料が3,000円かかるが、このお金は何に使われるのか。	町民環境課	犬の登録料（生涯1回）は、犬の戸籍と同じで住所・飼い主・履歴などを管理する経費や、登録鑑札代などに使用しています。
⑦	ゴミ袋に説明や注意書きがいろいろ印刷されているが、読む人はいるのか。ゴミが有料化されるといいますが、そういうのをなくせば安くなるのではないかと感じている。	町民環境課	ごみ袋には、ごみを出すときのルール等を印刷しています。ルールを守り、分別の徹底をしてもらうためには必要と考えています。有料化になった場合にも、新しいごみ袋へ同様の印刷はされると思います。 袋の大きさについては、大が45ℓ、中が30ℓの容量となっています。
⑧	伊達市ではゴミ袋の口が結べるようになっていて、いいアイデアだと思う。	町民環境課	家庭ごみの有料化に伴い現在のごみ袋は廃止になります。新しく統一されるごみ袋は耳つき・マチつきタイプ（レジ袋と同じ）となります。
⑨	船迫小学校と仙南ガス間の街路樹が剪定されていない。早急に剪定してほしい。	都市建設課	西船迫保育所付近から第29A区集会所間約1kmにある街路樹は約150本に達します。予算の都合で3年から5年間隔の剪定とならざるを得ません。ただし、伸び過ぎて見通し不良等の危険箇所については随時対応します。

No.	質問・意見・要望等	回答担当	回 答
⑩	<p>仙台市の公園では、ブランコの足場が削れないように木を埋めてある。また公園利用の際の注意事項5項目が書かれた看板があり、そこには犬に糞をさせない、猫に砂場で糞をさせない、掃除をして帰る、不審者が出たら連絡をする、ゴミは持ち帰るなどとなっている。</p> <p>問題は砂場への犬猫の糞であり、町内の公園にも看板を設置してほしい。また、砂の取りかえはどうしているか。</p>	都市建設課	<p>ブランコの足場の削れに対しては、土の補充やマット敷設などで対応していますが、使用上と管理上の両面から望ましい対応は何なのか検討しているところです。</p> <p>公園使用の啓発看板は年に数カ所設置しています。内容は仙台市と異なり、管理している愛護協力会の紹介と、「大切にきれいに」、「危険な遊びをしない」などの使用上の注意にしていますが、その時々さらに注意を促すお知らせもしています。</p> <p>砂場の砂は必要に応じて補充している状況です。犬猫の糞の対応については、他市町の状況や子育て支援のサークルの方の意見も聞きながらより良いものにしていきたいと考えています。</p>

エ. 農村環境改善センター

対象地区／柴田小学校区		担当班／1班	
No.	質問・意見・要望等	回答担当	回 答
①	<p>独身者がいるが、お嫁さんがいないので心配だ。町全体で考える必要があるのではないかな。</p>	農業委員会・生涯学習課（船岡生涯学習センター）	<p>適齢期を過ぎても結婚しない男性がいるのは農村だけの問題ではなくなっています。お見合いをして仲人をたてて結婚するという時代ではなくなり、本人の考え方により独身でいるという要素も多くなっているのではと思っています。少子化が加速するなか、結婚して社会に役立つために家庭を持つというような、子どもの頃からの教育も重要なので、家庭教育や学校教育、青少年教育等で取り組んでいけるように検討します。</p>
②	<p>ゆずが丘になかなか人が住まない。交通手段を考える必要があると思う。</p>	まちづくり政策課	<p>地域間を結ぶ交通手段の確保は、今後のまちづくりを考えていくうえで、とても重要なことです。このことから今年度、町民のニーズに合った新たな地域公共交通の検討を行い、平成24年度の運行に向けて取り組んでいきます。</p>

No.	質問・意見・要望等	回答担当	回 答
③	<p>柴田小学校入口付近の道路のかさ上げをしてもらったら、校庭が浸水するようになったので改善してほしい。</p> <p>また、多くの通学路に冠水箇所があり、確認して改善してほしい。</p>	教育総務課	<p>水が溜まらないようにするには、校庭を道路の高さと同じにする必要がありますが、校庭の南側は地盤沈下があり、一気に砂を入れられませんので、毎年、沈まない程度に少しずつ砂を入れて、道路と同じ高さにしていきたいと考えています。</p> <p>通学路につきましては、冠水箇所を確認し改善していきたいと考えています。</p>
④	<p>入間田地区の将来の道路建設計画はどうなっているのか。</p>	都市建設課	<p>中断している入間田20号線の改良は、将来計画路線の一つとして予定されていますが、現時点での着手年次は未定です。</p>

オ. 西住公民館

対象地区／西住小学校区		担当班／2班	
No.	質問・意見・要望等	回答担当	回 答
①	仙台大学への補助金の現状は。	財政課	平成22年度において1億1,085万5千円を寄附金として計上しており、平成23年度の1,085万5千円をもって一連の寄附金事業は終了となります。
②	清住地区の用水路のフェンスが老朽化しており、早急な対応を求める。	都市建設課	今年度から、特に危険の大きい所から改修工事を実施します。
③	戦中・戦後を支えた人たちにぜひ光を当ててほしい。仙台市のシルバーセンターのような高齢者サービスを行うべきではないか。	福祉課	<p>現在の高齢者へのサービスの中心は、各行政区や社会福祉協議会と連携し、お互いが顔の見える身近な地域での自立に向けた支援や生活の支援などが主で、地域住民との協働による施策を行っています。</p> <p>老人憩の家「羽山荘」は平成19年3月に施設の老朽化により廃止しました。新たな交流施設の建設は、現在、予定していませんが、外出機会を支援する「移送サービス」、学習機会の支援として「高齢者サークル活動」、集会所を中心とした介護予防教室「元気はつらつお達者day」などの支援を講じて高齢者の多様なニーズに対応していきます。</p>
④	鷲沼排水計画では、公園の地下に調整池をつくることになっているが、泥水が溜まり膨大な維持費がかかるのではないか。	上下水道課	貯留施設としての機能維持のため、維持管理を定期的に行うこととなります。巡回時に、必要に応じて機能回復のための清掃等を行うこととなりますが、施設の構造が一定の泥水が溜まっても問題のない構造となることから、実際の維持の回数・費用については、供用開始後の施設状況で判断することとなりますのでご理解願います。なお、今後の計画の中で、維持費は必要最小限となるよう努めます。
⑤	生涯学習センターの駐車場はすべて未舗装である。軽自動車税を使って、整備すべきではないか。	生涯学習課	駐車場の未舗装整備には広大で多額の費用がかかり、10カ年の待機事業・懸案事項にもなっていることは承知しています。当面、財政状況の推移を見ながら年次計画を立て整備していきます。

No.	質問・意見・要望等	回答担当	回 答
⑥	<p>柴田町は火薬廠があったから発展した。その記念碑が、仙台大学の塀の中にあるので、一般の人が見ることはできない。塀の外に出せないか。</p>	<p>生涯学習課 (しばたの郷土館)</p>	<p>第2次世界大戦も最終段階に近づきつつあった昭和19年、国民総動員体制の一環として動員学徒の通年制、夜勤制も開始された。この地にあった第一海軍火薬廠にも旧制高等学校、専門学校、中学校の生徒3,000人通年動員1,500人を中心に動員された。動員学徒は戦局苛烈を極めるなか国の大事に殉じようと、学業半ばにして団結相扶け、終戦の日まで困苦に耐え、過酷な作業にあたった。ために若い命を散らした学徒もあった。平和と豊かさを謳歌している現在、あの暗黒の時代に紅の血を燃やして働いた学徒動員という歴史的事実も埋没、風化しようとしている。</p> <p>戦後50年にあたり、動員学徒のささげたものの意味を改めて考えると再びあのような苦い思いをさせてはならないと願うこと切である。そして、当時のひたむきな情熱がこれからの世界の平和につながるようにとの思いをこめ、動員学徒有志相はかり、この碑を建立する。</p> <p>平成7年9月5日 第一海軍火薬廠勤労働員学徒有志</p> <p>この勤労働員学徒の碑は、上記経過により火薬廠本庁舎の中庭であった場所に選定設置されたものです。また、設置場所管理者の仙台大学としても門扉が閉鎖しているとき以外は、碑の見学者を拒むことなく入校させ、守衛さんに断って見学できます。さらに碑の周辺の草刈り除草清掃作業を実施していただいています。</p> <p>この碑は町の所有ではなく、寄付をいただいた多くの学徒の方々の所有であることから、町が権限を持っていませんので、移動することは困難です。</p> <p>このような状況なので、塀の外に移動するという事は設置の意図に反しますし、その移動の経費、その後の維持管理を誰が行うかなど問題があり、現状では、塀の外に移動することはできないと思われれます。</p>

カ. 船岡生涯学習センター

対象地区／東船岡小学校区		担当班／3班	
No.	質問・意見・要望等	回答担当	回 答
①	区長報酬が3割減額になったが、区長配達をやめ郵送にしたことによる費用が区長報酬の減額分より多いと聞いている。納得できない。	総務課	区長報酬については、見直しを行い対前年度比で24%減となっています。区長費用の減額は1,490万円であり、郵送経費は1,460万円の増であることから、おおむね区長報酬の減額と郵送経費の増額に大きな差はありません。
②	まちづくり基本条例はなんだか理解できない。	まちづくり政策課	各行政区に出向き、まちづくり基本条例の説明会を平成22年1月より実施してきました。 今後も町民の要望等に応じ出前講座として直接内容の説明を行っていきたいと考えています。また、ホームページ、広報紙等を活用し啓蒙していきたいと考えています。
③	鷺沼排水路の整備を柴田町単独で進めるのは困難と思われるが、見通しはどうか。 また、地区住民に説明などはしているのか。	上下水道課	鷺沼排水路の整備については、流域が2町にまたがることから、大河原町と連携し、平成24年度から国土交通省の補助事業の採択を受け、財源の確保を図りながら実施していくことで、両町とも合意しているところです。また、地区住民には、毎年実施している事業計画説明会の中で、事業実施時期等の説明も行い、ご理解をいただいています。

(3) 議会に関する質問・意見・要望等

ア. 柴田町保健センター

対象地区／船岡小学校区 担当班／1班			
No.	質問・意見・要望等	回答担当	回答
①	議会において議員提出の条例などが少ないと思うが。	全員協議会	議員が提出した条例・規則議案は、平成17年から21年までの5年間で17件あります。内訳は議員報酬条例の改正が7件、委員会条例の改正が4件、会議規則の改正が3件などのほか、議員定数を4名削減する条例改正や、政治倫理条例を新たに制定したりしています。

イ. 槻木生涯学習センター

対象地区／槻木小学校区 担当班／2班			
No.	質問・意見・要望等	回答担当	回答
①	議場に議員経歴25年の議員写真を飾るのはおかしいのではないかと。県内では、柴田町のみである。写真は議場ではなく、控室などにすべきではないかと。	全員協議会	本町議会では、昭和56年に制定した「永年在職議員の顕彰に関する内規」に基づき、25年の長きにわたり議員として町治に寄与した功績に対して表彰し、議場内に肖像を掲額しており、今まで11名の議員が顕彰されています。掲額の場所については、今までの経緯も踏まえながら、今後検討していきます。
②	議員報酬を日給制や査定制にしてはどうか。	全員協議会	議員報酬については、平成19年3月に設置した議員定数報酬等調査特別委員会で、公募住民による公聴会を開催するなどして公開で審議して決定した経過があります。議員活動には、本会議や各種委員会、全員協議会など多くの公務があり、活発な議論や活動がなされている現状ですが、そのほかにも議場以外での議会活動や議案調査、政務調査等にも多くの時間を費やしていることから、日給制による議員報酬の支給は困難と考えています。また、査定制についても、全議員の議会活動や議員活動を正確に把握し議員報酬に反映させるためには、査定者やシステムの構築に多くの問題があるため、現時点では考えていません。
③	議会懇談会は年に2回はやってほしい。	全員協議会	昨年までは町民を対象とした議会懇談会（一般懇談会）を年1回開催してきましたが、今年からは新たに町内団体との懇談会も行います。一般懇談会の年間2回開催については今後検討していきます。
④	議員は町長のイエスマンになっては困る。	—	ご意見として議員全員に伝えました。

ウ. 船迫生涯学習センター

対象地区／船迫小学校区		担当班／3班	
No.	質問・意見・要望等	回答担当	回 答
①	議員にも各地域の自主防災組織の活動状況を把握していただきたい。	—	ご意見として議員全員に伝えました。

エ. 農村環境改善センター

対象地区／柴田小学校区		担当班／1班	
No.	質問・意見・要望等	回答担当	回 答
①	議場に在職25年以上の議員の写真を掲額しているが、議会の性質を考えると疑問である。仙南の4市8町に問い合わせても本町のような議会はない。県に問い合わせしてみたが、常識的にそのような話が出ないのではないかとのが紹介された。	全員協議会	本町議会では、昭和56年に制定した「永年在職議員の顕彰に関する内規」に基づき、25年の長きにわたり議員として町治に寄与した功績に対して表彰し、議場内に肖像を掲額しており、今まで11名の議員が顕彰されています。 掲額の場所については、今までの経緯も踏まえながら、今後検討していきます。
②	傍聴しているが、傍聴者が議場内で質疑などができるようにできないか。	全員協議会	地方議会は地方自治法や当該自治体の条例・会議規則等に基づき運営されています。現在の規定では傍聴者が議会で発言することは想定されていないことから、質疑はできません。

オ. 西住公民館

対象地区／西住小学校区		担当班／2班	
No.	質問・意見・要望等	回答担当	回 答
①	大雨が降ると子どもたちは学校に行けなくなる。鷺沼排水工事が早く始まるよう、議員からも声がけしてほしい。	—	ご意見として議員全員に伝えました。
②	蔵王町では通年議会を採用している。柴田町も通年議会を検討しては。	全員協議会	通年議会のメリット・デメリットを検証しながら、今後検討していきます。
③	議会懇談会の参加人数が少なくなってきた。回覧版を利用したり、議員がその担当地区へチラシを直接配布したりしたらどうか。	実行委員会	町や議会の行事等の案内はお知らせ版により行い、回覧版は使わないことになっています。 また、議員が担当地区へチラシを配ることについては、その他のPR策も含めて、次年度の実行委員会で協議しながら工夫して参加人数の増加策を図っていきます。

カ. 船岡生涯学習センター

対象地区／東船岡小学校区 担当班／3班			
No.	質問・意見・要望等	回答担当	回 答
①	区長の報酬削減について、議会はかかわりを持たなかったのか。常任委員会で審議しなかったのか。議会ももう少し考えてほしかった。	担当議員 (回答済み)	委員会では審議せず、直接本議会で質疑を行い採決しました。
②	合併協議会への対応について、議会における採決の仕方は大いに不満だ。合併の是非は住民が決定するもので、住民投票をすべきではなかったか。	担当議員 (回答済み)	出席議員が個人の考えを一人ずつ述べました。
③	町で、「よくわかる町の仕事と予算」を配布しているが、メリットはあるのか。どれだけの人が読んでいるのか。私の周りでは捨てたという人もいる。議員は疑問を感じなかったのか。	担当議員 (回答済み)	出席議員が個人の考えを一人ずつ述べました。
④	まちづくり基本条例は、町民にどれだけ理解・浸透しているのか。前向きに進めようという姿勢は見えるが、パフォーマンスに見える。年間を通して人に来てもらう、活性化できるようにと町でやっているようだが、具体的に見えてこない。議員はどう思っているか。	担当議員 (回答済み)	出席議員が個人の考えを一人ずつ述べました。

2 団体懇談会

ア. 公共交通の確保に関すること

No.	発言内容	回 答
①	<p>【商工会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 商工会に関係のある話題はあるか。 	<p>【議員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 常任委員会で、岡山県和気町に視察に行った。和気町ではデマンドタクシーの運営を商工会で行っている。近場では七ヶ宿町、蔵王町でも行っている。 ・ 高齢者が増えているため、買い物困難者が多くなっている。
②	<p>【議員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 導入にはタクシー会社等との議論になっているところもあるが、商工会としての意見は。 	<p>【商工会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ デマンドタクシーに関する情報は商工会に入っていない。
③	<p>【商工会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 議会からの提案があれば商工会で議論ができる。早めに情報を流してほしい。 	<p>【議員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現在町では研究会を立ち上げている。角田市に調査・視察に行ってみようか。商工会としてのかかわり方を検討していただいて、町に提案してもらえばいいと思う。
④	<p>【商工会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ タクシー会社に買い物を依頼する住民もいるが、買い物をしている時間もタクシー代が加算されるので、待ち時間分を町で負担してくれないか。 	<p>【議員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 買い物難民、交通弱者等問題について町と検討していかなければならない。 ・ 高齢者の足を確保する等、商業部会とも一緒に考えていかなければならない問題。

イ. 花のまち柴田に関すること

No.	発言事項	回 答
①	<p>【商工会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 長野県小布施町に視察に行ったが、柴田町とは条件が全然違うので同じことをするのは無理だと思う。そこに予算をかけるなら別のところにかけてほしい。 ・ 町長は小布施町がモデルだと言っていたが、小布施町の話では、ここまで30年はかかっているとのこと。ふるさと創生の1億円を使って住民をヨーロッパ視察に派遣した。 <p>行政の考え方を、教育施設（住民の意識・学校・幼稚園）から始めて理解を広げていくべきだと思う。</p>	<p>【議員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 花咲き山構想については町民の意識を高めしていくことが大切。時間はかかるが長い目で見てほしい。 ・ 「花のまち柴田」は菊で名声を高めたが、後継者がいない。トルコギキョウの取り組みは始まったが、ブランド化には時間がかかる。

ウ. 農商工連携に関すること

No.	発言事項	回 答
①	<p>【議員】</p> <ul style="list-style-type: none"> 農商工連携についての考えは。 	<p>【商工会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 物産振興協会ができたので地産地消を進めたい。商工会としては、会員の発展を考えていかなければならない。 給食にコメを。子どもたちにおいしいコメが柴田にはあることを示していくべき。

エ. 入札に関すること

No.	発言事項	回 答
①	<p>【商工会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 入札関係について。町では町内企業育成とうたっているが、地元業者にもっとおろしてほしい。町に貢献しているのだから。特に災害時には地元業者の力が必要になるのではないか。 	<p>【議員】</p> <ul style="list-style-type: none"> 町の執行部は入札時に地元育成と答弁しているが、入札なので、安い方に落札してしまう。
②	<p>【商工会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 町以外の業者に落札されるのを防ぐべき。 災害時ばかりでなく、普段から地元業者にすべき。 県では総合評価にボランティア活動が入っているが町にはない。ぜひ入れてほしい。 	<p>【議員】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年4月から130万円以下の小規模修繕工事に関しては、登録をすれば仕事が入ってくる仕組みになっている。今は5件の登録。公共施設関係の修繕になるが、まだ件数は少ない。

オ. 職員増員要請に関すること

No.	発言事項	回 答
①	<p>【議員】</p> <ul style="list-style-type: none"> 来年から職員が少なくなるので町から支援してほしいとの要望があったが、増えている仕事の内容は。 	<p>【商工会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 補助金申請等事務的な作業が紙ベースで出さないといけない。法人会、警察友の会等の事務局、イベント関係もあるので、人的には非常に厳しい状態。 経営指導員はいるが事務局長クラスがいないと、接客、巡回指導・訪問等には厳しい部分があり、仕事量が増えてきている。

カ. プレミアム商品券に関すること

No.	発言事項	回 答
①	<p>【議員】</p> <ul style="list-style-type: none"> プレミアム商品券の利用は一極集中での利用になっていないか。また、分析はしているか。 	<p>【商工会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 町から1,000万円の補助を受け、総額7,200万円の商品券の発行を行った。登録された169事業者のうち換金されたのは92事業者。交換率については99.75%。

キ. 商品券等による納税に関すること

No.	発言事項	回 答
①	<p>【議員】</p> <ul style="list-style-type: none"> 町納税システムについて商工会の考えは。 	<p>【商工会】</p> <ul style="list-style-type: none"> スタンプ会のカードを利用した納税には新たな端末機が必要になる。 現在の柴田町商工会のシステムはリライトカードで、購入情報が商工会にすべて入ってくる。 平成19年に矢祭町を視察し、平成20年加美町、多賀城市を視察した。町の会計課と財政課も一緒に行った。その後ポイントと商品券による納税についてスタンプ会、会長名で町長あてに書類を提出したが返事はない。商品券だけでも議題にあげてもらえばいいと思っている。 スタンプ会の商品券はエコポイントの交換商品に登録しており、グリーン家電エコポイント1,700万円分、住宅エコポイント40万円分が商品券として還元されている。町内で利用できる商品券なので、今後納税で活用できればと考えている。

ク. 仙台大学とのかかわりに関すること

No.	発言事項	回 答
①	<p>【商工会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 保育所から大学まである町はなかなかない。大学では学科も増えており、町、議会としてのかかわりはどうなっているのか。 	<p>【議員】</p> <ul style="list-style-type: none"> 大学祭を町の事業と一緒にしている。また、町からの委託により、介護予防関係が地域に入ってきている。
②	<p>【商工会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒の生活態度の問題。交通マナー等の問題がある。 	<p>【議員】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学生の生活態度だが、仙台大学としては、指導はしている。特に交通マナーに対しては指導を強化しているがなかなか難しい。 仙台大学生約2,200名のうち町内在住は1,400名程度おり、それなりの経済効果もある。 地域の方々にも学生を指導してほしい。

ケ. その他

No.	発言事項
①	・ スポーツ関係にもっと力を入れてほしい。【商工会】
②	・ 仙台大学施設が利用できることを町民にアピールしてほしい。【商工会】
③	・ つり橋計画に予算をかけるならスロープカーを下に延長した方がいいのではないか。【商工会】
④	・ 商工業者としては、つり橋ができたときに人の流れが変わることを心配している。議会としてよく議論してほしい。路地を利用したり、マンホールを綺麗にしたりしてはどうか。【商工会】
⑤	・ 太陽の村への道路がわかりにくい。【商工会】
⑥	・ 町の産業・観光等を紹介（案内）するパンフレットがあるといいのではないか。【商工会】
⑦	・ 年に1回は、所管事務調査時に商工会との連携を図ったらどうか。【議員】

※ ①から⑥の発言については、本報告書により町へ報告いたします。

【資料】

I 平成22年柴田町議会懇談会開催要領

1. 開催目的

本議会は、議会活動の報告や、議会や町政に対する意見・要望等を直接聴取するため、町民を対象とした議会懇談会（以下「一般懇談会」という。）及び、町内団体等を対象とした議会懇談会（以下「団体懇談会」という。）を開催する。

2. 実行委員会

- 1) 議会懇談会は、議会懇談会実行委員会（以下「実行委員会」という。）が企画し、実施する。
- 2) 実行委員会の委員（以下「実行委員」という。）は、議席番号1番から3番まで、4番から6番まで、7番から9番まで、10番から12番まで、13番から15番まで、16番から18番までの6つに区分し、それぞれの区分ごとに毎年輪番制で1名ずつ選出するものとし、本年は次のとおりとする。

区分 (議席番号)	実行委員名
1～3	平間奈緒美
4～6	高橋たい子
7～9	◎ 水戸 義裕
10～12	森 淑子
13～15	○ 佐藤 輝雄
16～18	大沼 惇義

※ 実行委員名欄の「◎」は実行委員長、「○」は副実行委員長。（H22.4.6第1回実行委員会において選任）

3. 一般懇談会

(1) 開催日時及び会場

開催日時	小学校区	開催会場	対象行政区	担当班	
7月18日 (日)	午後の部 (14:00～16:00)	船岡小	柴田町役場 (保健センター4階会議室)	1. 2. 3. 4. 5. 6A. 6B. 7A. 7B. 8. 9A. 9B	1班
		槻木小	槻木生涯学習センター (3階会議室2)	13. 14. 15. 16. 17A. 17B. 18A. 18B. 19. 20	2班
		船迫小	船迫生涯学習センター (2階会議室1・2)	10. 28. 29A. 29B. 29C. 29D	3班
	夜間の部 (19:00～21:00)	柴田小	農村環境改善センター (1階農事研修室)	21. 22. 23. 24. 25. 26. 27	1班
		西住小	西住公民館 (ホール)	30	2班
		東船岡小	船岡生涯学習センター (2階和室)	11A. 11B. 11C. 12A. 12B	3班

(2) 懇談会の内容

1) 報告

- ① 平成21年柴田町議会懇談会に係る要望事項等の報告
- ② 平成21年度柴田町議会活動報告

2) 懇談

- ① テーマ「防災—地震に備えて—」
- ② 町政・議会全般について

(3) 班編成及び役割分担等

- ① 班は6人で組織し、3班編成とする。
- ② 実行委員は、実行委員会において調整して2名ずつ3つの仮班（A班・B班・C班）に振り分ける。
- ③ 実行委員を除く議員を議席番号1番から9番まで、10番から18番までの2つに区分し、それぞれの区分毎の抽選により3つの仮班に振り分ける。

- ④ 各班に代表者、司会者、報告者、懇談担当者、記録者を置き、班員の互選によって決める。
- ⑤ 各班（1班、2班、3班）が担当する会場は、それぞれ2会場とし、各仮班代表者の抽選によって決定する。

[担当班名簿]

班名	班員				担当会場
1 班 (6名)	代表者	舟山 彰	懇談担当者	佐久間光洋	柴田町保健センター 農村環境改善センター
	司会者	広沢 真	記録者	佐藤 輝雄	
	報告者	高橋たい子	記録者	我妻 弘国	
2 班 (6名)	代表者	白内恵美子	懇談担当者	大坂 三男	槻木生涯学習センター 西住公民館
	司会者	佐々木 守	記録者	有賀 光子	
	報告者	森 淑子	記録者	平間奈緒美	
3 班 (6名)	代表者	水戸 義裕	懇談担当者	安部 俊三	船迫生涯学習センター 船岡生涯学習センター
	司会者	加藤 克明	記録者	星 吉郎	
	報告者	佐々木裕子	記録者	大沼 惇義	

(4) 周知方法

- ① 議会だより（128号）及び町お知らせ版（6月15日号、7月1日号）に掲載して周知する。
- ② 町内各施設にポスターを張る。
- ③ 町ホームページに掲載する。
- ④ 議員から声掛けをする。（1人チラシ30部）

(5) 記 録

懇談会記録は、会議経過及び参加者から出された意見、要望、提言などを要点記録する。

(6) 結果報告書の提出

各班の代表者は、7月26日（月）までに結果報告書を（5）の記録とあわせて議長へ提出する。

(7) 資 料

参加者に懇談会資料を配布する。

(8) 臨時託児所の設置（略）

(9) 開催当日の日程

【午後の部】	
13:00-14:00	会場集合・準備（机いす・放送機器・看板等）
14:00-15:45	議会懇談会 (次第) 1. 開会あいさつ 2. 議会報告 ① 平成21年柴田町議会懇談会に係る要望事項等の報告 ② 平成21年度柴田町議会活動報告 3. 懇 談 ① テーマ「防災—地震に備えて—」について ② 町政・議会全般について 4. 閉会あいさつ
15:45-16:00	かたづけ
【夜間の部】	
18:00-19:00	会場集合・準備（机いす・放送機器・看板等）
19:00-20:45	議会懇談会 (次第) 1. 開会あいさつ 2. 議会報告 ① 平成21年柴田町議会懇談会に係る要望事項等の報告 ② 平成21年度柴田町議会活動報告 3. 懇 談 ① テーマ「防災—地震に備えて—」について ② 町政・議会全般について 4. 閉会あいさつ
20:45-21:00	かたづけ

(10) 議会懇談会の進行 (略)

(11) 準備物一覧 (略)

(12) その他

- 1) 参加者からの発言は、より多くの方が発言できるよう運営に配慮する。
- 2) 議員の発言は、特定の議員に偏らないようお互いに良識をもって対応する。
- 3) 議員個人の見解は発言しない方が望ましいが、参加者から求められたときは、私見であることを前置きしてから発言する。
- 4) 懇談会終了後は、全体で総括する。
- 5) 意見・要望等で必要なものは、議長から町長へ申し入れ、必要な対応を求める。
- 6) 参加者への確認事項
 - ① 町と議会との違いについて

例) 町の事業は、町執行部が条例案・予算案などを議会に提案し、議会の議決によって初めて町が行うことができる。議会は議決機関としての役割なので、町執行部のように予算提案権や事業執行権を持たないため、事業を計画し実施していくことはできないこと。
 - ② 意見・要望等に関しては、議会で議決された事実や経過は出席議員が知り得る範囲で発言できるが、今後の方向性等決定されていないことについては回答できないこと。
 - ③ 今回出された意見や要望等については町長へ報告し、回答を得た後に開催会場施設への配布・閲覧や、ホームページ・議会だよりへの掲載を行うこと。

4. 団体懇談会

(1) 開催日時及び会場

開催日時	団体名	開催会場
9月28日(火) (14:00~16:00)	柴田町商工会	柴田町商工会館

(2) 懇談会の内容

- 1) 平成21年度柴田町議会活動報告
- 2) 団体の現状について(団体から説明)
- 3) 懇談

(3) 班編成及び役割分担等

- 1) 団体懇談会は班を編成せず、全議員で行う。
- 2) 代表者は議長、司会者は副議長とし、報告者及び記録者は実行委員から選任する。

役割	担当議員名	
代表者	我妻 弘国	
司会者	白内恵美子	
報告者	水戸 義裕	
記録者	平間奈緒美	森 淑子

(4) 開催当日の日程

13:30	実行委員集合・準備(机いす・放送機器・看板等)
13:50	議員集合
14:00-15:45	議会懇談会 (次第) 1. 開会あいさつ 2. 平成21年度柴田町議会活動報告 3. 団体の現状について 4. 懇談 5. 閉会あいさつ
15:45-16:00	かたづけ

(5) 議会懇談会の進行〔司会者：副議長〕 (略)

(6) 周知方法

- 1) 議会懇談会への団体の参加者は、当該団体に一任する。
- 2) 町民への周知は行わない。

(7) 記 録

懇談会記録は、会議経過及び参加者から出された意見、要望、提言などを要点記録するものとし、10月5日(火)までに議長へ提出する。

(8) 資 料

参加者に懇談会資料を配布する。

(9) 準備物一覧 (略)

Ⅱ 議会懇談会実行委員会の活動経過

(1) 実行委員会

開催回	開催日	開催内容
1	22年4月6日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・正副実行委員長の選出 ・議会懇談会の実施内容 ・今後の日程
2	22年4月16日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・懇談テーマの選定 ・議会懇談会開催要領(案)の確認 ・全員協議会の開催依頼
3	22年5月24日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・議会懇談会マニュアル(案) ・議会懇談会時資料の担当 ・議員研修会
4	22年7月6日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・議会懇談会時に使用する資料の確認 ・今後の予定
5	22年8月6日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・議会懇談会概要報告 ・議会懇談会の反省 ・議会懇談会要望事項等の確認と回答担当割当て ・今後のスケジュール
6	22年10月28日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・団体懇談会のまとめ ・団体懇談会要望事項等の確認と回答担当割当て ・団体懇談会の反省 ・今後のスケジュール
7	22年11月29日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・議会懇談会報告書(案) ・町長並びに議長への申し入れ事項等 ・全員協議会への報告

(2) 全員協議会への報告

開催回	開催日	開催内容
1	22年4月27日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・議会懇談会開催要領の決定 ・班編成(抽選) ・担当者(互選)の決定 ・議員研修会開催要領の決定
2	22年7月13日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・議会懇談会最終確認 ・担当班最終打合せ
3	22年8月26日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・議会懇談会における議会に対する質問等への回答
4	22年12月13日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・議会懇談会の総括

(3) 議員研修会

開催回	開催日	開催内容
1	22年6月26日(土)	<ul style="list-style-type: none"> ・公開議員研修会 テーマ「防災—地震に備えて—」 〔講演①〕 演題 「宮城県沖地震の再来への備え」 講師 宮城県総務部危機対策課 危機対策企画専門監 小松 宏行 氏 〔講演②〕 演題 「災害に強い地域づくり」 講師 柴田町総務課 危機管理監 佐藤 富男 氏